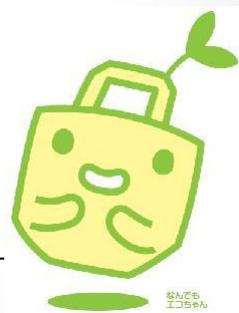


金沢市議会 意見交換会

平成27年11月25日（水）
西部環境エネルギーセンター



• 1

テーマ

「ごみ減量化について」



• 2

金沢市ごみ処理基本計画（第5期） 平成27年3月策定

【期間】

平成27年度～平成41年度までの15年間
※5年ごとに見直し

【基本理念】

「ごみの減量と資源循環による
持続可能な社会の実現」



● 3

金沢市ごみ処理基本計画（第5期）

【数値目標】

	平成25年度	平成36年度	
ごみの 総排出量	175,700トン	151,000トン	14%削減
資源化率	11.7%	26.0%	
燃やす ごみの量	147,100トン	106,000トン	28%削減

● 4

金沢市ごみ処理基本計画（第5期）

【基本方針】

- ①市民・事業者との協働によるごみの減量（家庭ごみの有料化の検討）
- ②分別の徹底と再使用・再生利用の促進
- ③適正で効率的なごみ処理体制の再構築
- ④地球温暖化対策の強化



金沢市ごみ処理基本計画（第5期）

【パブリックコメント】

平成27年2月～3月にかけて実施
全32件の意見

- | | |
|--------------------------|-----|
| ・ 家庭ごみ有料化導入検討に関する意見 | 22件 |
| ・ 生ごみ、紙ごみの減量化促進に関する意見 | 5件 |
| ・ 将来を見据えた収集体制や施設整備に関する意見 | 2件 |
| ・ その他 | 3件 |

金沢ごみ減量・資源化フォーラム

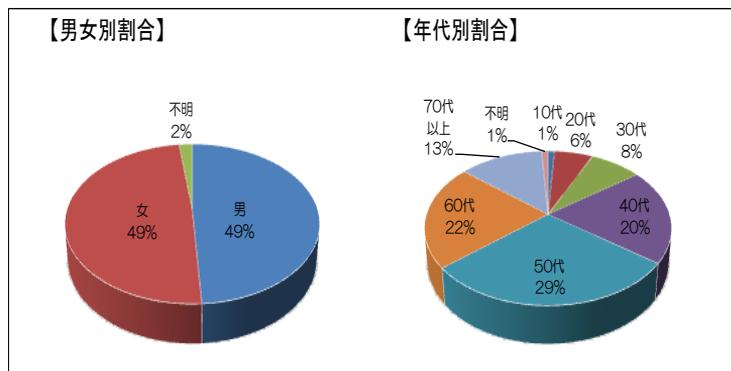
【開催内容】

日時	場所	内容	来場者数(人)
5月31日(日) (14時～16時半)	石川県女性センター (三社町)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基調講演「ごみ減量と家庭ごみ有料化」 (東洋大学経済学部教授 山谷修作 氏) ・ 金沢市ごみ処理基本計画の説明 ・ パネルディスカッション ・ 意見交換会 	196
6月21日(日) (13時～15時)	金沢市文化ホール (高岡町)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 金沢市ごみ処理基本計画の説明 ・ 有料化先行都市の事例紹介 (千葉市・長野市) ・ 意見交換会 	135
7月5日(日) (13時～15時)	駅西健康ホール (西念)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 金沢市ごみ処理基本計画の説明 ・ 有料化先行都市市民団体の取組紹介 (千葉市・新潟市) ・ 意見交換会 	180
			(全3回合計)
			511人

金沢ごみ減量・資源化フォーラム

【開催内容】

来場者数内訳



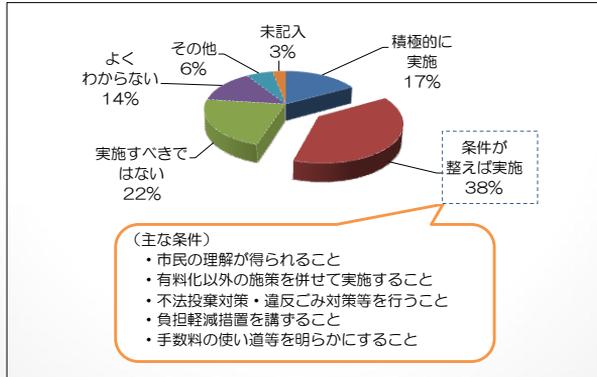
金沢ごみ減量・資源化フォーラム

【アンケート結果】

◎ アンケート回収率(全3回合計)

来場者数	アンケート回収数	回収率
511	397	78%

◎ 家庭ごみの有料化についてどう考えるか？



金沢ごみ減量・資源化フォーラム

【主な意見】

- ・なぜ急に有料化するのか、唐突すぎる。
- ・不法投棄の増加が心配である。
- ・リバウンドが生じるのではないか。
- ・家計への負担が大きい。
- ・もっと市民に周知し、理解を得るべき。
- ・有料化する前に、他のごみ減量政策を検討すべき。



議会での主な議論

【本会議での議論】

平成27年6月



議会

家庭ごみの有料化を提案するなら、事業系ごみの減量化・資源化のさらなる強化を。

これまでも施設搬入時の展開検査や大規模事業所に対する資源化指導を実施してきており、さらに強化していきたい。



執行部

議会での主な議論

【本会議での議論】

平成27年6月



議会

有料化ありきでなく、ほかにやるべきことがあると考える。

ごみの減量化・資源化をさらに進めるために有料化を提案した。市民に丁寧に説明し、理解をいただく努力をしている。



執行部

議会での主な議論

【本会議での議論】

平成27年6月

議会

平成24年西部環境エネルギーセンター稼働に伴う分別方法の変更で減少した資源化率をどう考えるか。

平成26年度においては、容器包装プラスチックが見込みより約2,500トンふえており、さらなる分別指導が必要と考える。

執行部

●13

議会での主な議論

【本会議での議論】

平成27年9月

議会

経済的インセンティブが働く家庭ごみの有料化は排出抑制の有効手段だが、市民に新たな負担を求める施策であり、市民に十分理解してもらう必要がある。

これまでに3度開催した市民フォーラムなどで出された意見や先行都市の事例を参考にして、本市独自の有料化制度の素案を作成し、廃棄物総合対策審議会での議論を踏まえ適切に判断する。

執行部

●14

議会での主な議論

【本会議での議論】

平成27年9月

議会

有料化制度の素案を市民に提示し、広く市民と意見交換する機会を設けることを求める。

市民フォーラムを3度開催し、市民の代表である市議会とも議論しており、改めて市民との意見交換は考えていないが、説明を求められれば積極的に出かけ、丁寧に説明する。

執行部

● 15

議会での主な議論

【本会議での議論】

平成27年9月

議会

ごみ処理費用、ごみを減らす仕組みづくりは本来税金で行う仕事であり、家庭ごみの有料化を進めるべきではない。

さまざまな減量化や資源化の施策を進めてきたが、ごみの排出量はほぼ横ばいで推移しており、多くの都市で取り組まれている有料化の検討は欠かせないと考えている。

執行部

● 16

経済環境常任委員会 行政視察

【秋田市】 『ごみ有料化について』

〈経緯〉

平成15年2月～平成17年1月
秋田市廃棄物減量等推進審議会

平成17年1月 答申『ごみ有料化の検討を』

平成21年11月～平成22年7月
秋田市廃棄物減量等推進審議会

平成22年7月 答申『市民の理解のもと実施を』

平成22年9月 実施計画書案策定

経済環境常任委員会 行政視察

【秋田市】

〈経緯〉

平成22年10月 説明会開催（58回、1,619人参加）

平成22年12月 家庭系ごみの有料化に関する条例
改正案提出 → 取り下げ

平成23年1月～12月 説明会開催
（313回、16,459人参加）

平成23年8月 家庭系ごみ有料化実施計画 策定

平成23年9月 家庭系ごみ有料化に関する条例
改正案提出、可決

経済環境常任委員会 行政視察

【秋田市】

〈経緯〉

平成24年1月～6月

有料化制度説明会開催（678回、23,932人参加）

平成24年7月1日 家庭系ごみ有料化実施

※開始から2週間、ごみ集積所へ職員配置
（延べ903人）

経済環境常任委員会 行政視察

【秋田市】

〈制度内容〉

- ・ 有料化対象 家庭ごみ
- ・ 処理手数料 1リットル当たり1円
（袋の代金は別）
- ・ 袋の大きさ 10L、20L、30L、45L
- ・ 負担軽減制度 在宅医療廃棄物等排出世帯に対し、
ごみ袋を配布（45Lの袋50枚/年）

経済環境常任委員会 行政視察

【秋田市】

〈有料化に併せて実施する施策〉

- ・ ごみ集積所の美化推進
- ・ 生ごみの堆肥化容器（コンポスター）の普及促進
- ・ ボランティア清掃の支援
- ・ 集団回収の普及促進
- ・ 不法投棄防止対策
- ・ 不適正排出防止対策

●21

経済環境常任委員会 行政視察

【仙台市】『ごみ減量に向けた取り組みについて』

〈ごみ総量の推移〉

仙台市では、ごみ有料化以前からごみ減量化の取り組みを行ってきており、有料化を開始した平成20年度以前からごみの総量は減少していた。



平成23年3月の東日本大震災以来、ごみの総量は急激に増加し、平成26年度においても、平成21年度の水準には至っていない。

●22

経済環境常任委員会 行政視察

【仙台市】『ごみ減量に向けた取り組みについて』

〈有料化導入の経緯〉

- ・平成18年4月 仙台市廃棄物対策審議会
有料化検討開始
- ・平成19年6月 仙台市廃棄物対策審議会
最終基本方針策定
- ・平成19年10月 有料化導入関連条例改正案 可決
※議員提案による付帯意見が付され、実施期間が
3ヶ月先延ばし（平成20年7月→平成20年10月）
- ・平成20年2月 実施計画策定
有料化地域説明会開始

●23

経済環境常任委員会 行政視察

【仙台市】『ごみ減量に向けた取り組みについて』

〈制度内容〉

- ・有料化対象 家庭ごみ、容器包装プラスチック
- ・処理手数料 家庭ごみ用袋（袋代金含む）
45L：40円、30L：27円、20L：18円、
10L：9円
容器包装プラスチック用袋
45L：25円、30L：16円、15L：8円
- ・負担軽減制度
 - ・市から紙おむつの支給を受けている
高齢者・障害者に30L袋を50枚配布
 - ・満1歳までの乳児のいる家庭に30L
袋を50枚配布

●24

経済環境常任委員会 行政視察

【仙台市】『ごみ減量に向けた取り組みについて』

〈市民への説明〉

・家庭ごみ等処理費用受益者負担制度導入推進本部
による説明（20万人、3千団体目標）

①町内会

②排出ルール徹底層

③主婦、高齢者層

・説明会開催実績

3,627団体、延べ208,025人参加

●25

経済環境常任委員会 行政視察

【仙台市】『ごみ減量に向けた取り組みについて』

〈不適正排出・不法投棄対策〉

杜の都クリーンアップ大作戦

・地域環境クリーンアップ大作戦

有料化実施前

ごみ集積所（約18,000カ所）の実態調査

排出状況の悪い550カ所を特定

有料化実施後

実施後2週間、毎朝7時から8時半までの早朝

巡回指導を全集積所で実施

10月1日（有料化導入初日） 1.2個

10月31日（1ヶ月後） 0.2個

●26

経済環境常任委員会 行政視察

【仙台市】『ごみ減量に向けた取り組みについて』

〈不適正排出・不法投棄対策〉

杜の都クリーンアップ大作戦

・自然環境クリーンアップ

平成20年8月～12月に市、関係機関、周辺町内会等
による大規模な不法投棄一掃活動を実施等

・都市環境クリーンアップ

有料化実施直前（平成20年9月）に、集中的な
街ぐるみ環境美化活動を実施

●27

家庭ごみ有料化実施計画（素案）

【概要】

1. 有料化の目的

- ・ごみの減量及び資源化率の向上
- ・費用負担の公平性の確保
- ・ごみ処理経費の削減及び将来の世代への負担の軽減

2. 有料化の対象となるごみ

- ・対象となるごみ
燃やすごみ、燃やさないごみ（埋立ごみ）
※資源ごみは対象外（無料）
- ・負担軽減措置
排泄管理支援用具、腹膜透析バッグ
剪定枝、落ち葉、草花
ボランティア清掃ごみ（地域清掃ごみ）



●28

家庭ごみ有料化実施計画（素案）

【概要】

3. 指定ごみ袋の種類と手数料の額（販売価格）

【税込】

指定ごみ袋のサイズ	1枚当たりの価格 (1リットル当たり1円)	販売価格 (10枚セット)
5リットル	5円	50円
10リットル	10円	100円
20リットル	20円	200円
30リットル	30円	300円
45リットル	45円	450円

標準世帯（大人2人、子ども2人）予想負担額
1ヶ月約350円（年間約4,000円）

●29

家庭ごみ有料化実施計画（素案）

【概要】

4. 周知期間

十分な周知期間を設ける（中核市平均9ヶ月）

5. 周知方法

市民説明会、テレビCM、ラジオ、新聞、広報誌、
ホームページ、パンフレット

6. 手数料収入の用途

必要経費

地域での3R活動などを通じた地球温暖化対策事業
(例) 生ごみの減量化、古紙回収促進、環境教育など

※ごみ処理費用には充てない

※収支状況を公表し、透明性を確保



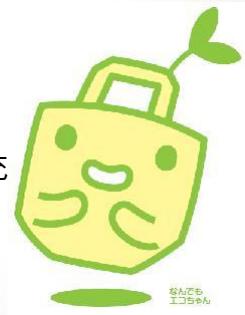
●30

家庭ごみ有料化実施計画（素案）

【概要】

7. 他のごみの減量・資源化を推進するための施策等
家庭ごみの有料化と併せて実施することにより、
一層のごみの減量・資源化を図る。

- ・古紙の資源化の推進
- ・資源回収拠点の拡充
- ・生ごみリサイクル循環システムの拡充
- ・不適正排出・不法投棄対策の強化
- ・ふれあい収集の実施



●31

意見公募（パブリックコメント）実施内容

1. 実施期間

平成27年11月16日（月）

～平成27年12月15日（火）の30日間

2. 資料閲覧場所

- ・リサイクル推進課（市役所3階）
- ・市政情報コーナー（市役所4階）
- ・各市民センター（14箇所）
- ・ホームページ



●32